



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	7,226	△3.7	530	△39.3	1,554	23.7	1,204	30.4
2018年3月期第1四半期	7,508	△9.3	874	130.1	1,256	205.8	923	221.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 522百万円 (△42.9%) 2018年3月期第1四半期 915百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	21.29	ー
2018年3月期第1四半期	16.32	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	81,370	73,533	90.4
2018年3月期	84,098	73,945	87.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 73,533百万円 2018年3月期 73,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	13.00	ー	13.00	26.00
2019年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2019年3月期(予想)	ー	13.00	ー	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,100	△6.9	400	△71.9	2,250	△57.8	1,700	△56.7	30.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は2018年6月14日開催の取締役会において、自己株式の取得をすることを決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、『添付資料』P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	56,814,093株	2018年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	338,509株	2018年3月期	209,947株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	56,582,946株	2018年3月期1Q	56,604,527株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2018年7月31日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)の売上高は、LAL事業及び海外医薬品が伸長した一方で、国内医薬品が薬価引き下げの影響を受け大幅に減少したことから、前年同期と比べ3.7%減の72億2千6百万円となりました。

営業利益は研究開発費が前年同期並みとなるなか、減収に加えて、海外子会社における販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、39.3%減の5億3千万円となりました。経常利益は投資有価証券売却益や受取ロイヤリティーが増加したことなどにより、23.7%増の15億5千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は30.4%増の12億4百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品(35億1百万円、前年同期比15.0%減)

関節機能改善剤アルツは、市場が数量ベースで微減で推移するなか、医療機関納入本数が販売提携先の拡販施策によって微増となりました。一方で、当社売上は2018年4月からの薬価引き下げの影響等により大幅に減少しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、シェルガンが引き続き伸長し、医療機関納入本数及び市場シェアが拡大したことから、薬価引き下げの影響をカバーして当社売上も増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップの当社売上は前年同期並みとなりました。

なお、2018年3月に国内での製造販売承認を取得した腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアは、販売提携先の科研製薬株式会社から2018年8月1日より発売します。

- ・海外医薬品(18億5百万円、同4.6%増)

単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、米国現地販売が増加しましたが、当社売上は第2四半期以降への出荷時期ずれがあり減少しました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、米国市場において3回投与や単回投与などの少数回投与製品が選好される傾向が高まっており、現地販売が減少しました。当社売上は、当第1四半期に出荷が集中したことから増加しました。

中国向けアルツは、一過性の増減はあるものの、現地販売は都市部だけでなく周辺地域への拡販強化により増加基調にあります。当社売上は前年同期の現地在庫調整の反動もあり増加しました。

- ・医薬品原体(2億5千3百万円、同15.9%増)

ヒアルロン酸は前年同期並みで推移した一方、コンドロイチン硫酸の売上が増加しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は55億6千万円(同8.3%減)となりました。

<LAL事業>

エンドトキシン測定用試薬等の国内・海外販売がともに増加し、売上高は16億6千6百万円(同15.3%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、営業利益が2018年5月11日に公表しました通期の連結業績予想に達していますが、研究開発費が第2四半期以降に集中することなどを踏まえ、同連結業績予想からの変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,139	8,183
受取手形及び売掛金	8,704	8,292
有価証券	3,998	5,732
商品及び製品	3,295	3,265
仕掛品	2,606	2,408
原材料及び貯蔵品	1,675	1,521
その他	2,883	2,693
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	30,291	32,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,833	22,799
減価償却累計額	△11,861	△12,003
建物及び構築物（純額）	10,972	10,795
機械装置及び運搬具	23,152	23,020
減価償却累計額	△16,508	△16,749
機械装置及び運搬具（純額）	6,644	6,271
土地	930	927
リース資産	162	167
減価償却累計額	△83	△93
リース資産（純額）	79	74
建設仮勘定	1,673	1,807
その他	5,703	5,635
減価償却累計額	△4,727	△4,717
その他（純額）	975	918
有形固定資産合計	21,275	20,794
無形固定資産		
その他	554	512
無形固定資産合計	554	512
投資その他の資産		
投資有価証券	28,959	24,949
退職給付に係る資産	144	156
その他	2,881	2,874
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	31,977	27,973
固定資産合計	53,806	49,281
資産合計	84,098	81,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,780	1,180
1年内返済予定の長期借入金	142	142
リース債務	36	34
未払金	4,085	2,831
未払法人税等	545	289
賞与引当金	629	314
その他	456	789
流動負債合計	7,675	5,584
固定負債		
リース債務	55	51
繰延税金負債	1,618	1,452
資産除去債務	38	38
その他	763	708
固定負債合計	2,476	2,251
負債合計	10,152	7,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	59,790	60,259
自己株式	△344	△543
株主資本合計	68,587	68,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,982	4,598
為替換算調整勘定	328	9
退職給付に係る調整累計額	46	68
その他の包括利益累計額合計	5,357	4,676
純資産合計	73,945	73,533
負債純資産合計	84,098	81,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	7,508	7,226
売上原価	3,322	3,326
売上総利益	4,185	3,900
販売費及び一般管理費		
販売手数料	415	368
人件費	478	546
賞与引当金繰入額	81	84
退職給付費用	36	28
研究開発費	1,558	1,563
その他	740	777
販売費及び一般管理費合計	3,311	3,369
営業利益	874	530
営業外収益		
受取利息	15	17
受取配当金	144	163
為替差益	47	—
投資有価証券売却益	159	732
受取ロイヤリティー	—	108
その他	23	16
営業外収益合計	390	1,038
営業外費用		
支払利息	7	5
為替差損	—	6
その他	1	2
営業外費用合計	8	15
経常利益	1,256	1,554
税金等調整前四半期純利益	1,256	1,554
法人税、住民税及び事業税	340	336
法人税等調整額	△8	12
法人税等合計	332	349
四半期純利益	923	1,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	923	1,204

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	923	1,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	△384
為替換算調整勘定	△172	△318
退職給付に係る調整額	34	21
その他の包括利益合計	△7	△681
四半期包括利益	915	522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915	522
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式 128,500株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が198百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が543百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,062	1,445	7,508	—	7,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,062	1,445	7,508	—	7,508
セグメント利益	642	232	874	—	874

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,560	1,666	7,226	—	7,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,560	1,666	7,226	—	7,226
セグメント利益	226	303	530	—	530

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。